

# REPORT & INFORMATION

## お知らせ Information

### 参加者募集 メーリングリスト企画 レポーター募集！

今回6~7ページで特集した、ユニセフ・エジプト事務所の大澤さんへのインタビューを読んでいただけましたか？事務局では引きつづきメーリングリストを使った企画を計画中です。たとえば、世界各地で活躍するユニセフ日本人スタッフに、いろいろ質問したり、意見を聞いてもらうインタビューやディスカッションなど、みんなが参加できる楽しい企画を考えています。企画が具体的に決まりしだい、子どもネットニュースやメーリングリストで発表していきますので、お楽しみに！

そこで、このメーリングリストでのやりとりを記事にまとめて、子どもネットニュースでみんなに発表してみませんか？今回のメーリングリストでのインタビューは、九州に住んでいるネットワーカーの秦くんがレポーターになって報告してくれました。「わたしもやってみたい！」という人、大募集です！メーリングリストに登録している人なら誰でももうしこみできます。また、「こういう企画のレポートをしたい！こんな人にインタビューしたい！」というアイディアも募集しています。



©日本ユニセフ協会/NOZAWA

#### 企画委員のもうしこみ方法

次のことを行って、メールで事務局まで送ってください。  
1.名前とネットワーカー番号  
2.レポーターになってやってみたいこと  
メールアドレス: [jcuinfo@unicef.or.jp](mailto:jcuinfo@unicef.or.jp)

子どもネットニュースは、みなさんで作っていく新聞です。  
たくさんの応募をお待ちしています！

#### LETTERS

ユニセフ子どもネットニュース  
NO.5を読んで

### ネットワーカーからの感想

前号では、イラク戦争についてネットワーカーからの意見を紹介したり、「国連子ども特別総会」などについてとりあげました。たくさんのメールやお手紙をありがとうございました。これからもみなさんからのご意見やご感想をたくさんご紹介していく予定です。お便りをお待ちしています！

日本は先進国であり、戦争をしていないから世界は心の余裕があるのに、国内行動計画を作る取り組みさえまだ始まっていないことにショックを受けた。私はこのネットニュースを読むまで国内行動計画の存在さえ知らなかった。子どもに関する記事を当の本人である子どもたちが知らないのは問題があるので、子どもたちに国内行動計画とはどういうものか知ってもらい、どういうものを作りたいと考えた。（横田 恵里 17歳）

アフガニスタンのザハラの話が、印象にのこりました。学校へ行きたいために、男の子にまでなるザハラに感心しました。今は学校もあるのでいいと思いますが、女の子もちゃんと学校にいけるようになればいいと思います。（遠山 優香 14歳）

イラク戦争が終わり、しばらくたったが、近ごろニュースで報道しなくなった。しかし、イラクではまだ私と同世代の子どもたちが苦労して生きている。そのことによって日本はいかに思まれているか、募金の大切さを知った。私たちが、これから困っている世界の子どもたちになにをしてあげられるか、あらためて考えてみるべき。（中村 翔也 13歳）

「国連子ども特別総会」のように、子どもが意見を言える場が整ってきたのは良いことだと思うしかし、それが具体的にどんな影響を与えるのか。少なくとも私の身の周りでは変化はない。このままで何を変わらない！と危機感に似たようなものを感じました。（鈴木 智暉 15歳）

北朝鮮の子どもたちについての記事をとりあげてほしいです。北朝鮮の現状をみても、軍隊のことや金正日についてのことしか報道していないので、子どもたちのことを知りたいと思います。そしてできるなら、募金などもしたいです。（三木 綾子 13歳）

## お問い合わせ・もうしこみは

### ユニセフ子どもネット事務局

(日本ユニセフ協会 広報室)

住所: 〒108-8607

東京都港区高輪4-6-12

電話: 03-5789-2016

ファックス: 03-5789-2036

電子メール: [jcuinfo@unicef.or.jp](mailto:jcuinfo@unicef.or.jp)

## 報告 Report

### 学習会

### ユニセフ子どもネット@九州 第5回学習会報告

8月12日、今回で5回目の学習会を福岡でおこないました。自己紹介の後、ストリートチルドレンに関するドキュメンタリーのビデオを見て、ストリートチルドレンを取りまく問題について考えました。

午後はストリートチルドレンについてイラク戦争についてくわしく学び、ディスカッションをしました。ストリートチルドレンは、現状の課題と、解決法について意見交換をし、イラク問題については、その背景と歴史、イラク戦争前後のユニセフの活動について知ることができました。また、今後の活動についてもみんなで話し合いました。



アドバイザーとして来てくださった、日本ユニセフ協会九州本部の金子さん(中央)をかこんで



- ・初めて学習会に参加したのですが、みんなで社会問題についてよく知っていて、とても驚きました。（大原 優子）
- ・話し合いに参加できて楽しかったし、今まで知らなかったことも学べました。（梨田 麻衣子）
- ・初の山口県からの参加者もあり、なんだか新鮮な感じがしました。たくさん新しい企画のアイディアが出来ましたが、実現できるようにがんばりましょう！（三浦 麻理英）
- ・準備は大変だったけど、当日は充実した話し合いができたと思います。ユニセフ子どもネットがますます発展できるように、これからもみんなでがんばっていけたらいいなと思いました。（秦 聖一郎）

熱心に参加してくれたメンバー

ユニセフ子どもネット@九州では、ホームページやメールマガジンを作って学習会の告知やくわしい報告などをしています。掲示板で意見交換もしています。九州に住んでいないネットワーカーも大歓迎です。ぜひ遊びにきてください！ホームページアドレス <http://unicef-cnk.hmc6.net/> (報告: 新田 真之介 17歳)

### フォーラム

### ユニセフ子どもネット@北海道 学習フォーラム“Talking Our Life” 開催報告

私たちは8月9日に、高校生を対象としたフォーラムを開催しました。「子どもの権利条約」「イラク戦争」「私たちの未来」をテーマに、私たち高校生は「自分」の人生に、社会に、何を求めるのか。そしてそのためにどのように生き、行動し、何ができるのか」といった、普段は考える機会があまりないかもしれませんけれど、考えなければならない問題について、みんなで真剣に語り合いました。

当日は、まず「子どもの権利条約」のなかで、日本が守られていないものがあるかどうかについて話し合いました。みんながだしてくれた意見の中には、「大きな病気にかかっても、国がすべての治療費を出してくれるわけではないので、適切な医療が受けられないことがあるのではないか」「情報化が進む日本のような先進国だからこそプライバシーが守られていないのではないか」「朝鮮学校に通う在日朝鮮人の人たちが日本の大学に行くためには、大検を受けなければならないというのは差別なのではないか」など、たくさん問題があげられました。

イラク戦争についても、「イラクから連想すること」をもとにして話し合いました。戦争、アメリカ、貧困、難民、テロなどさまざまな事柄が浮かび上がりましたが、なかなかもう一步踏み込むことができず、戦争について考えることのむずかしさを感じました。同年代の人たちが集まって、いろいろな問題について話し合うことができ、とてもよかったです。（報告: 門脇 真弓 17歳）